



## Q 都立病院の地方独立行政法人化(独法化)ってなんなの？

**A** 都立病院から手をひきたい都の責任放棄を正当化する仕組み。これが独法化です。  
都民の健康よりオリンピックや大規模開発を優先するのが小池都政。だから都の予算の僅か0.5%である400億円を都立病院に使いたくないのです。  
コロナ禍でも都立病院を民営化したい。世間の批判をかわして誤魔化すため、独法化しても名前は「都立」のままにするつもりです。  
もしも医療が崩壊しても、現場の責任にして都が逃げ出せる仕組みが独法化です。



## Q 独法化されても「都立」病院？

お金編

**A** 責任を持つとはお金と人を出すことですが、都立病院に対する都の運営責任をなくす独法化はお金と人を削ります。小池都知事は、都議会で質問されても口先では削減しないと逃げています。やればやるだけ赤字になるため民間では担うのが難しい不採算医療、例えば、救急医療、新型コロナの感染症医療などの命にかかわる大事な分野です。だから都民の命と健康に責任を持つ東京都が、400億円の税金を使っているのです。  
独法化されてしまえば名前は「都立」でも、同じ医療はできません。



## Q 独法化されても「都立」病院？

働く人編

**A** 独法化によって都立病院で働く7,000人が公務員の身分を失います。  
営利を求めず全体の奉仕者として働く公務員が、弱い立場にある不採算医療の患者をケアすることが重要なのです。しかし、独法化されると病院には稼ぐことが最優先で求められるため、効率が優先された働かされ方に変えられてしまいます。  
保育で利益を追求する株式会社が参入した途端、不祥事や事故が相次いだのと同じです。働く人は同じで、名前も「都立」。しかし提供する医療の中身は様変わりします。



## Q 都立病院は赤字だから効率的に経営するために独法化するの？

**A** 都立病院は赤字ではありません。  
不採算医療を行う都立病院には収入源が二つあり、診療報酬と都からの400億円のバックアップです。不採算医療が確実に実施されるようにバックアップすることが法律で決められているからです。都民ファーストや自民は、これを赤字だと煽り立てフェイクニュースを拡散しました。コロナ医療、救急医療、白血病の骨髄移植などの分野の医療を都立病院がリードしてきたのは400億円のバックアップがあったからであり、健全な経営をしているといえます。

